

担当教官: 青山 亨. 東京外国語大学 言語文化学部 (インドネシア語専攻)

研究室: 633. オフィスアワー: 月曜日10:30-12:10. 電話: 042-330-5300. メール: taoyama@tufs.ac.jp

授業科目 導入科目 総合文化研究入門A 「さまざまな文化の理解のために」 (G3103)

授業題目 伝統芸能に見るジャワの文化伝承

日時・教室 2014年12月17日、水曜4限。101教室

授業の目標 東南アジア、インドネシアのジャワに焦点をあて、ジャワ固有の精霊信仰、ヒンドゥー教の多神教信仰、イスラームの唯一神信仰の三者の重層的な関係を、伝統芸能を主な材料として、理解する。

教材・参考書等 スライドを使用。あわせてプリントを配付。

成績評価の方法 授業後にレスポンス・シートを提出してもらおう。レスポンス・シートに対する全体的講評は青山のウェブページに掲載する予定。 http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/2014/12/1217_2.html

注記 リレー講義の第10回を担当。講義全体の問合せは授業担当の田島充士先生まで。



参考文献

青山 亨. 2005. 「南海の女王ラトゥ・キドゥル—19世紀ジャワにおけるイスラームをめぐる文化的表象のせめぎあい」『総合文化研究』8:35-58.

青山 亨. 2014a. 「プランバナン寺院シヴァ堂のラーマーヤナ浮彫」『画像史料論—世界史の読み方』第3章 (pp.56-88) 東京外国語大学出版会.

青山 亨. 2014b. 「歴史概要」、「古代史」、「ボロブドゥール」、「東南アジアのイスラーム」東京外国語大学東南アジア課程編『東南アジアを知るための50章』明石書店.

伊藤照司. 1992. 『ボロブドゥール遺跡めぐり』新潮社.

岩田慶治. 1979. 『カミの人類学: 不思議の場所をめぐって』講談社.

内堀基光. 1995. 「宗教と世界観」綾部恒雄・石井米雄編『もっと知りたいインドネシア』第2版, 弘文堂. pp.116-153.

内堀基光・山下晋司. 1986. 『死の人類学』弘文堂.

エリアーデ, ミルチャ著, 風間敏夫訳. 1969. 『聖と俗—宗教的なるものの本質について』(叢書ユニベルシタス) 法政大学出版会.

エリアーデ, ミルチャ著, 堀一郎訳. 2004. 『シャーマニズム』2巻 (ちくま学芸文庫) 筑摩書房.

大野晋. 2001. 『日本人の神』(新潮文庫) 新潮社.

国際協力銀行開発金融研究所編. 2003. 『インドネシアの宗教・民族・社会問題と国家再統合への展望』(JBICI Research Paper No.25. 中村光夫執筆)

<http://www.jbici.go.jp/english/research/report/paper/pdf/rp25_j.pdf>

小林寧子. 2002. 「インドネシアにおけるイスラーム思想の展開」『思想』9月号. pp.178-190.

佐々木宏幹. 1980. 『シャーマニズム—エクスタシーと憑霊の文化』(中公新書) 中央公論社.

タウフィック・アブドゥラ編, 白石さや・白石隆訳. 1985. 『インドネシアのイスラーム』めこん.

田村 史. 1990. 「インドネシアの舞踊—身体から宇宙へ」野村雅一・鈴木道子責任編集『身ぶりと音楽』(民族音楽叢書) 東京書籍.

中島成久. 1993. 『ロロ・キドゥルの箱—ジャワの性・神話・政治』風響社.

中村生雄. 1994. 『日本の神と王権』法蔵館.

中村雄二郎. 1983. 『魔女ランダ考—演劇的知とはなにか』岩波書店.

弘末雅志. 2003. 『東南アジアの建国神話』山川出版社.

松前健編. 1979. 『神々の誕生』(講座日本の古代信仰第2巻) 学生社.

松本亮. 1994. 『ワヤンを楽しむ』めこん.

マルバングン・ハルジョウィゴロ著, 染谷臣道・宮崎恒二訳. 1992. 『ジャワ人の思考様式』めこん.

ミゲル, コバルピナス著, 関本紀美子訳. 1991. 『バリ島』平凡社. バリ人の信仰についての優れた記録.

吉田禎吾編著. 1992. 『バリ島民—祭りと花のコスモロジー』弘文堂.

ロバートソン, R. 著, 田丸徳善監訳. 1970. 『宗教の社会学—文化と組織としての宗教理解』川島書店. とくに第4章の「シンクレティズムに関する覚書」.

Jensen, E. 1974. *The Iban and Their Religion*. Oxford: Clarendon Press.

キングレコード・ワールド・ミュージック・ライブラリー. ジャワ、バリを中心に多彩な現地録音CDあり.

<<http://www.kingrecords.co.jp/cs/r/r7020/>>

この講義の構成

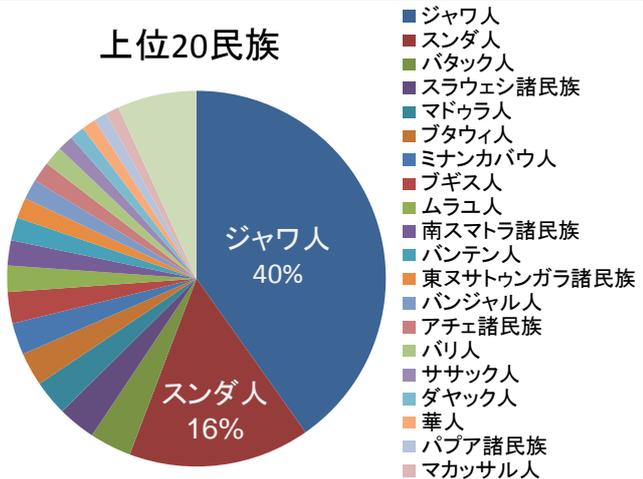
- 背景
 - インドネシアの文化的多様性
 - インドネシアへの宗教伝播の歴史
- インド文化の伝来
 - ヒンドゥー叙事詩「ラーマーヤナ」
- イスラームの伝来
 - 正統的な信仰
 - イスラームと精霊信仰
 - 芸能に見る「ラーマーヤナ」
- 総括

インドネシア概要

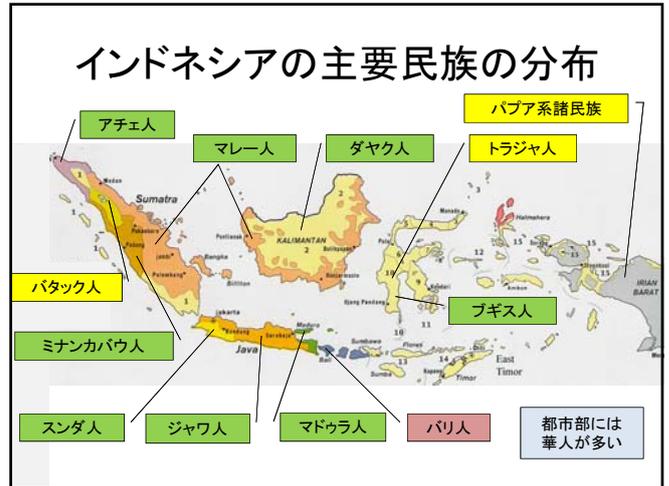
- インドネシア共和国(1945年8月17日独立)
- 面積 191万km²(日本の約5倍)、34州
 - 13,466の島々、東西5,100km以上
- 人口 2億5000万人(世界第4位)
 - ジャワ人、スンダ人など300以上の民族



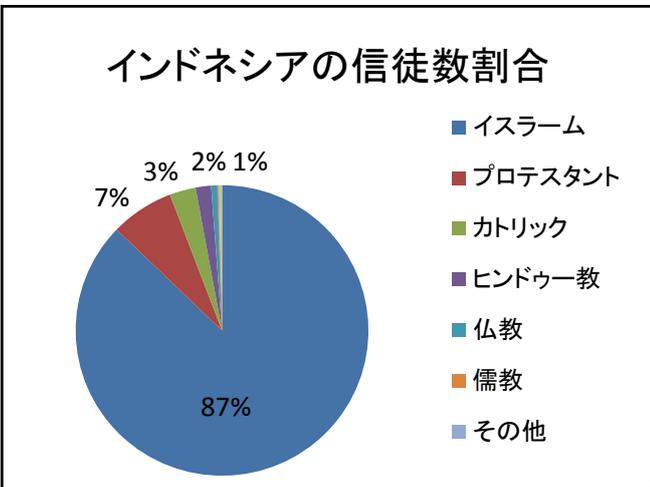
上位20民族



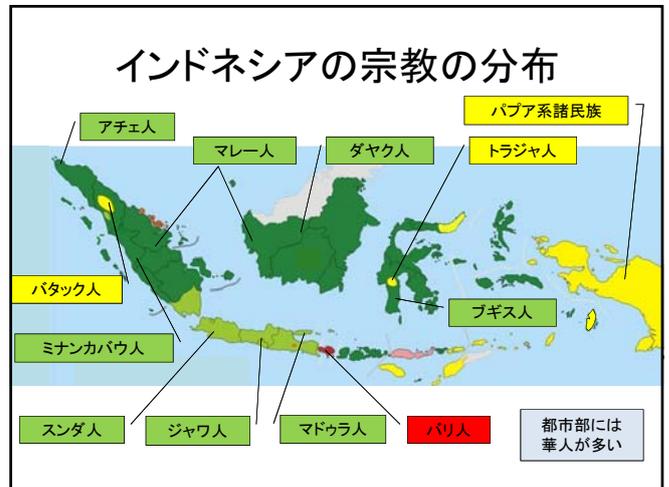
インドネシアの主要民族の分布



インドネシアの信徒数割合



インドネシアの宗教の分布



宗教の伝播の歴史

- 5世紀～15世紀: インド文明の影響
 - ボロブドゥール遺跡(大乘仏教)
 - プランバナン遺跡(ヒンドゥー教)
 - ジャワ島を中心に定着、バリ島へも
- 15・16世紀: イスラームの本格的な定着開始
 - 海上交易の拠点から伝播
 - 16世紀ジャワ島、マタラム王朝、スルタン
- 16世紀: キリスト教の到来
 - 香料諸島への関心 > 東部インドネシアに展開
 - 20世紀に内陸部の布教に一定の成功

ヒンドゥーの神々

- インド文化の伝来
 - 5世紀以降
 - ジャワ島を中心にヒンドゥー教、大乘仏教の伝来
- ヒンドゥーの神々
 - ブラフマー神(Brahma): 宇宙創造の神
 - ヴィシュヌ神(Visnu): 宇宙維持の神
 - シヴァ神(Siva): 宇宙破壊の神
 - そのほかにガネーシャなど多数

ラーマーヤナの浮き彫り

- プランバナン寺院(Prambanan)
 - 9世紀頃、ヒンドゥー系王国の建立
 - 中部ジャワ、ジョグジャカルタの東15km
 - シヴァ神祠堂の回廊にラーマーヤナの浮き彫り
- ラーマーヤナ(Ramayana)物語
 - ヒンドゥー教叙事詩の代表作
 - ヴィシュヌ神の転生ラーマ王子が悪鬼に誘拐されたシータ王女を救出する

イスラーム

- 六信:
 - 1) 神、2) 天使、3) 啓典、4) 預言者、5) 来世、6) 天命
- 五行:
 - 1) 信仰告白、2) 礼拝、3) 断食、4) 喜捨、5) 巡礼
- イスラーム暦(ヒジュラ暦)
 - 純太陰暦: 西暦2013年=ヒジュラ暦1434/1435年
 - 断食月(第9月)。断食明けの朝に集団礼拝
- 一切を超越した唯一の絶対者、世界の創造主、終末の裁き主である神のみが祈りの対象

ジャワの宮廷儀礼 1

- ジョグジャカルタの王
 - スルタン(Sultan): イスラーム地域社会の世俗的権力者
 - マタラム王朝の末裔
- ガルブツグ(Garebeg)
 - ムハンマドの誕生日(第3月)
 - 断食月明け(第10月)
 - 犠牲祭(第12月)
- グヌンガン
 - ガルブツグ祭礼のハイライト
 - 山型の食べ物のみこし > 民衆に配布
 - 豊穡儀礼

ジャワの宮廷儀礼 2

- ラトゥ・キドウル「南海の女王」
 - ラトゥ(ratu) = 女王
 - キドウル(kidul) = 南
 - ジャワ島南海岸部を中心に広く信仰
 - 南海(インド洋)にあって、ジャワ全土の精霊たちを支配
- マタラム王朝との関係
 - 王朝の創建者セノパティと交流
 - マタラム王朝の子孫とも交流を継続

ブドヨ・クタワン

- スラカルタの王
 - ススフナン。マタラム王朝の末裔。
 - ブドヨ・クタワン (bedhoyo ketawang)
 - 宮廷の神聖舞踊、王の即位記念日
 - ガムラン伴奏
 - 九人の女性による集団舞踊
- ラトゥ・キドウルの出現

芸能に見るラーマーヤナ

- ワヤン・クリ「人形影絵芝居」
 - ワヤン (wayang)「影」
 - クリ (kulit)「皮」
 - ダラン (dalang、人形使い)、ガムラン伴奏
- 物語
 - 主として、ラーマーヤナ、マハーバーラタに代表されるヒンドゥー叙事詩に題材を得た作品
 - ラーマ、シーター、シヴァ神などが登場

ワヤン・オラン

- 現在のワヤン・オランは中部ジャワで19世紀末に出現。
- ワヤン・クリに影響され、人形の振りで人間が舞台上で演じる。

スンドラタリ

- ワヤン・オランを近代的に改変。1960年代に創造。
- ラーマーヤナを題材とするため、観光客向けに「ラマヤナ・バレエ」と通称。
- プランバナンの野外劇場で、乾季の週末に4晩連続のプログラムが上演。

総括

- 固有の信仰と伝来した宗教
 - 精霊信仰: 基層の信仰
 - ヒンドゥー教: 多数の神々
 - イスラーム: 唯一神への信仰
- 重層的な文化の伝統
 - イスラーム信仰における唯一神
 - 精霊信仰におけるカミ
 - 文化としてのインドの神々
- 共存する「神」・「カミ」・「神々の物語」

【映像資料】

- Ramyana (05:33)
 - <https://www.youtube.com/watch?v=pfvdro4X2t0>
- Sendratari (15:00)
 - http://www.youtube.com/watch?feature=player_detailpage&v=3wr-2eJBxOo
- Bedoyo Ketawan (3:27)
 - <http://www.youtube.com/watch?v=aU2-ktJma4g>